

こころ21だより

会報 第38号

2018年(平成30年)8月15日発行

事務局

〒730-0856

広島市中区河原町7-2 徒然社内

TEL 082-292-4507(金子)

FAX 082-292-4508

E-mail: kokoro21@tsure20.co.jp

NPO法人 心豊かな家庭環境をつくる広島21

発行責任者/理事長 岸房康行

第12回通常総会開催

総会は6月16日土曜日、ひろしま国際ホテルで、会員53人(うち33人が委任状)が出席して開催。事務局から議案書にそって第1号議案/平成29年度事業報告、第2号議案/活動計算書について説明し、原案どおり承認されました。

第3号議案/30年度事業計画、第4号議案/活動予算についても審議の結果、原案どおり承認されました。

第5号議案/定款の変更は、特定非営利活動促進法改正にともない、毎年度、貸借対照表の公告が義務付けられたことによるものです。費用のか

からない簡便な方法とするため、法人のホームページに掲載することを提案、承認されました。

開催を予定しているフォーラムについては、年内開催を目指し、事務局でできるだけ早くテーマなど細目を決定し、会員へ案内する予定です。

議事終了後、特別企画としてこども落語を楽しみました。出演は葡萄亭こぞくらさん。廿日市市平良小学校の6年生。軽妙で愛らしい語り口が笑いを誘いました。



地域を守る

—西日本豪雨災害で思うこと—

理事長 岸房 康行

西日本豪雨で被災された皆さまに心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈りしています。

自然の怖さを改めて思い知らされた豪雨でした。私は豪雨の日はちょうど実家(府中市僧殿町)に帰っていましたが、夜の10時ころ、家の向かいの山で、ポキポキッと木が折れる大きな音がしました。すぐ懐中電灯で照らしてみましたが分からず、翌朝、山を見ると大きなヒノキが30本ほど山裾まで滑り落ちていました。わが集落では人的被害はありません

でしたが、道路は数カ所土砂で埋まりました。また、小さな谷も土砂で埋まりました。小さな谷とはいえ相当な水量があったらしく、谷底が高くなり大きな石もたくさん転がっていました。

道路の土砂は、市が撤去してくれましたが、当面の生活に支障のない谷の土砂は優先度が高くありません。関係者が集まり相談したところ、今後の雨に備えて早く元の谷に戻そうということになり、町内の有志が朝早くから作業して何とか復旧できました。みんなの力で地域を守ろうという、強い絆で結ばれた貴重な体験でした。

また、地域を守るということは、地域に住んでいる人たちが協力して、自然に寄り添うことだと強く感じさせられた豪雨でした。

幕末維新の備後路を訪ねて

地域の歴史・文化を訪ねる今年の会員研修・日帰りバスツアーは、明治維新150年にちなんで幕末維新ゆかりの備後地方の旧跡を巡ります。

ペリー来航の折、老中首座にあったのは譜代大名である福山藩阿部家・7代目藩主の阿部正弘です。開国の道筋をつけた正弘のイメージが強いため開明的な藩のように思われがちですが、正弘亡き後は藩を挙げて攘夷へ突っ走りました。

そのせいで長州征伐では矢面に立たされ手痛い負けを喫し、鳥羽伏見の戦いの後も新政府軍から真っ先に攻められました。こうした負け組の歴史が、その後の備後地方の歩みにさまざまな陰を落としているように思われます。

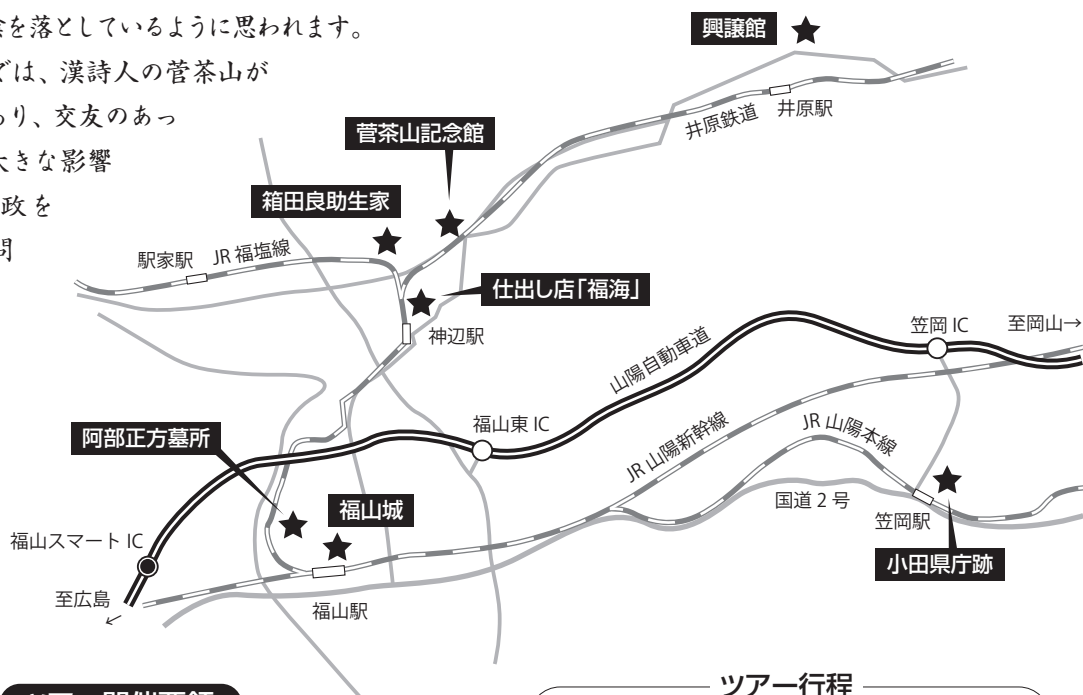
幕末の備後地方では、漢詩人の菅茶山が地域文化の中心にあり、交友のあった頼山陽も後進に大きな影響を与えました。藩政をリードし、若者に学問を教えた知識人同士の交友も活発で、幾多の先駆的な人材が育っていることも特筆されます。

中国新聞は、明治維新150年にちなんで、2017年4月から「残り火のありか」と題した記事を第2・第4日曜日、月2回連載しています。

筆者は私たちの法人の理事、山城滋さんです。

「歴史の転換点に向き合った経験は、光と影を織りなしながら引き継がれてきた。その残り火のありかを求め中国地方を歩く」と解説されています。

今回のツアーは備後地方の「残り火のありか」を訪ねます。



ツアー開催要領

- 日 時：平成30年10月13日(土) 雨天決行
- 集 合：午前7時30分
広島県庁・北側道路(市民病院と県庁の間)
- 交 通：貸し切り・中型バス(つばめ交通)
- 募集人員：27人(先着順)
- 参加費用：8,000円(昼食代を含む)
※参加費は当日徴収します。
※当日キャンセルの場合は参加費を申し受けます。

申し込み方法

FAX・はがきで事務局にお申し込みください。(氏名、住所、電話番号)

- 締め切り：10月1日(月)
- 申込先：NPO法人心豊かな家庭環境をつくる広島21
広島市中区河原町7番2号 徒然社内
TEL082-292-4507 FAX082-292-4508

ツアー行程

- 7:40 広島県庁・北側 発
- 9:40 阿部正方墓所
(備後で唯一の阿部家墓所)
- 10:30 福山城
- 12:00 神辺本陣前 仕出し店「福海」にて昼食
- 13:00 神辺本陣町並み散策
(菅茶山旧宅・廉塾)
- 13:40 箱田良助(伊能忠敬の内弟子
筆頭 榎本武揚の父)生家
- 14:30 井原 興譲館(阪谷朗盧が初代館長)、
江原代官所跡地
- 15:30 笠岡 小田県庁跡
- 18:40 広島県庁・北側 帰着予定

※行程は、当日の交通状況で変更することがあります。

「こども夢コンサート」との出会い

～中四国エリアの唯一の音楽大学として
地域文化に貢献していくミッション～



壬生 千恵子

「こども夢コンサート」との出会い
は2012年の秋、「NPO法人心豊かな家庭環境をつくる広島21さん

から、幼稚園・保育園児を対象にした演奏会の依頼がきております。」という一通のメールでした。春に閉園となる幼稚園で、ぜひ子どもたちの思い出に残るような芸術体験のプレゼントを…。

そしてできあがったのが「こども夢コンサート～安東幼稚園おんがくのもり～」でした。当初は、汎用型の体験授業形式をイメージされていたようですが、担当されていた住田和子さんをご相談していくうちに、より新しい参加型演奏会形式の実施となり、“音楽の森”が実現。一回限りのプログラムのはずが、他の園からも多くの公演依頼をいただき、翌年からは音楽の原点である“声”を主体にして、大学とこころ21さんとの協力事業「こども夢コンサートシリーズ」として再出発することになりました。

あっという間の5年間、すでに25公演を数えます。オペラやミュージカルの要素をふんだんに取り入れた舞台制作には、バリトンの折河宏治准教授をはじめ声楽専攻の大きな協力があり、舞台体験を生かして劇団四季に飛び立った卒業生もいます。そしてこれらの公演を企画から実施まで支えてきたのが、プロデュースを学ぶ音楽コミュニケーションデザイン専修（現在は音楽文化専修）の学生たちでした。500通を超えるこころ21さんとのメールのやり取りが残っています。

当時、着任したばかりであった私に心配がなかつ

たわけではありません。20年来、国内外で実践してきた企画制作やアウトリーチの経験が生かせるなら喜んで!と快諾したものの、「広島にはまだアートマネジメントという概念すら根づいていないのですよ」と言われていたからです。しかし、安東幼稚園の本番を迎えた2013年2月14日、心配は杞憂に終わりました。子どもたちのキラキラとした眼差しと食い入るように聴き入る姿、はち切れんばかりの歌声、そして涙目で舞台袖に戻ってきた学生たち…。彼らもまた、子どもたちとの協創から多くのものを頂いていました。現在、広島文化学園大学で准教授になられている高橋千絵さんは、そのころ本学修士課程の私のゼミでアウトリーチを学んでいました。今では、同大学のアウトリーチ部門を率いる立派な先生です。2014年から同大学音楽学科も音楽プログラムに参加、両輪として一緒にこのプログラムを重ねていけることに大きな喜びを感じています。

エリザベト音楽大学にはキリスト教精神に基づいたサービス・ラーニングという科目があり、学びを生かした社会貢献活動の一つとして今年安佐北区の、いでしたクリニックの「みんなの家」にお邪魔しました。また7月に開催された音楽教育の国際会議でも、本学の社会連携の取り組みとその教育効果は高く評価されています。

「こども夢コンサート」との出会いは、宿命であったのかもしれませんが。待っていてくださる市内の園の数を思うと、私たち現職教員のライフ・ワークでは到底間に合いませんが、次世代へ受けついでいけるよう、人材育成にも力をいれています。今年の「こども夢コンサート」は、アウトリーチ制作を学ぶ音楽教育学の大学院生が指揮をとります。どうぞよろしくお願いいたします。

(NPO法人こころ21会員)

(エリザベト音楽大学音楽文化学科音楽文化専修 准教授)

今年度の事業予定

カレーづくり大会 in 大芝

- 日 時：平成30年9月29日(土)
- 場 所：大芝小学校グラウンド
- 企画協力：NPO法人こころ21
- 主 催：大芝学区子ども会育成協議会

今年で実施は実質4回目。初回予定していた2013年は台風で、2014年は広島市土砂災害の影響で中止となりました。そして2015年からは毎年100人余りが参加して実施しています。

私たちNPOは、企画・協力として「たくましい子どもの成長」を支援しています。

便利は人を育てない。

不便体験で利口な子どもを育てよう。

協賛金・寄附金

このたび、広島信用金庫様から、平成30年度の「子どものための音楽プロジェクト」事業に役立ててほしいということで、100,000円の協賛金をいただきました。また、匿名で50,000円、株式会社 洋 (代表取締役 岩田洋子) から5,000円の寄付をいただきました。ご支援に感謝します。

子どものための音楽プロジェクト

- ・ **こども音楽体験教室** (協力/広島文化学園大学)

開催日	場 所
10月23日(火)	佐伯区八幡保育園
10月30日(火)	東区中山保育園
11月 6日(火)	西区ふくしま第二保育園
12月 6日(木)	東区牛田児童館

- ・ **こども夢コンサート** (協力/エリザベト音楽大学)

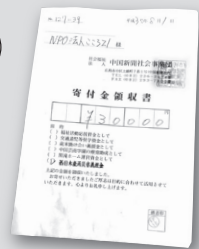
開催日	場 所
11月 5日(月)	安佐南区緑井保育園
11月 5日(月)	安佐南区古市保育園
11月12日(月)	佐伯区鈴峰園保育園
11月12日(月)	佐伯区美の里保育園
2月26日(火)	安佐北区落合東幼稚園

※2月26日はフルコンサート、落合保育園との交流事業

西日本豪雨災害義援金

このたびの西日本豪雨災害に対して、当NPO法人から義援金として、3万円を中国新聞社会事業団に寄託しまし

た。義援金は広島県、広島市、日本赤十字社を通して、被災者の支援に使われます。



編集後記 7月6日、8月6日広島の大災害の日。水で責められ、熱線で責められ、爆風で責められ、放射能で責められる。大変なことが6日に重なってしまった。自然災害からは避けることができないが、人が操作する原爆の投下からは避けることはできる。

核保有国とそれを支持する国は、これを本当に使うつもりで持っているのだろうか。その影響で人間がどうなるのかを知っているのだろうか。脅かしにしておく。幼稚な発想だけど、これに世界はどれだけの金をかけているのだろう。片方でユニセフでは何十円で何人も人間の人間が生き延びるというテレビCMを流している。

さて、皆さんは長崎の原爆投下の時刻をご存じですか。午前11時2分。私は昨年まで知らなかった。知ろうともしていなかった。私自身は昨年の8月9日、長崎の原爆式典の様子をテレビ生放送で初めて見た。そして、長崎のことをあまりに知らないことに気づき、恥ずかしい思いに駆られた。広島は外部に対して理解して欲しいと言いつつ、長崎は人ごとになっていないだろうか。これからは、両方を意識するよう呼びかけよう。

8月2日の毎日新聞によると「原子力規制委員会は1日、原発の廃炉に伴い、原子炉内から出る汚染度が高い廃炉廃棄物の処分場の規制基準案を了承した。活断層や火山の影響が想定されない場所で、深さ70メートル以上の地下に埋め、放射線の影響がほぼなくなる約10万年後まで保管することが柱」と報じられた。

こんな長期手形を誰が受け取ることができるのでしょうか。

私は、今回の西日本豪雨でダムが放流が問題となっているが、今の世代が核の廃棄物をダムにためて、いつの時に想定外と言って放流し、核物質の飛散災害が発生することになるだろうと想像する。想定外だから誰も悪くない、責任は過去の人となって追及のしようはない。過去の人、それは今のわれわれ。

エネルギーが必要なことはわかる。しかし今のわれわれの世代が資源を使い果たし、ゴミを後世に残してどうなるのだろうか。

もう一度生き方も考えなくてはならない。

(金子 敏郎)